

## 富士河口湖・富士レークホテル ユニバーサルでもてなし

富士河口湖町船津の富士レークホテル（井出泰済社長）は、車いすのまま入れるトイレや風呂など、ユニバーサルデザイン（UD）を随所に取り入れている。ホテルならではの非日常感も大切にし、ハード・ソフト両面での「UDのおもてなし」に努める。

1999年にUDルームを設置したのを皮切りに、全74室中23室がUD対応となっている。UD化した客室は、リクライニングベッドや車いすのまま席につけるテーブルを用意。入り口やベランダ、トイレに段差はなく、車いすのまま移動でき、利用できる。移動の負担を軽減するため、大浴場だけでなく客室の内風呂に温泉を引いた。

食事は予約時に伝えれば、一口大、刻み食、ミキサー食にするなどサービス面でもUD化を推進。全従業員を対象にUD研修会を開いている。

ポイントは、利用者がホテルに求める高級感や非日常感を損なわないよう、スロープや手すりを巧みに配置し、自然にUDを導入していること。県の「やまなしユニバーサルデザイン表彰」（2011年度）を受けると評価されている。

井出社長は「全ての人が心地よく過ごせる空間をつくっていきたい。こうしたUDの考え方が、ほかの施設にも広がってほしい」と話している。

〈長田哲也〉



＝いずれも富士河口湖・富士レークホテル



【写真右】UD化された客室。段差をなくし、ベッドはリクライニング式に  
【同中央】UD化したトイレ。空間を広く取り、手すりや折り畳み式ベッドを設置  
【同左】UD化した客室の内風呂。段差をなくして洗い場を広くし、温泉も引いた